

# 00 近年の状況

昨年8月の豪雨では、8月13日から15日までの3日間の合計降水量が207mmとなり、8月の月平均降水量(159.5mm)を超える記録的な大雨となりました。近年では、線状降水帯による大雨などいっどこで水害が発生してもおかしくない状況です。自分の地域は大丈夫と過信せず、今一度備えましょう。  
※線状降水帯は、次々と発生する発達した雨雲が列をなして数時間にわたり同じ場所を通過することで豪雨の被害をもたらすものです。

## ■雨期に備えて

土のう作製の方法と、地域の土のう保管場所について確認しましょう!

## ■土のう作製の方法

## ■土のう保管場所について



消防局予防課  
☎525-9902



消防局警防課  
☎525-9903

特集

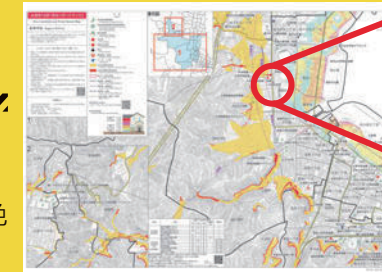
# 今やろう。～風水害に備える～

6・7月の大雨シーズンを迎える前にハザードマップの使い方や、災害発生時の情報収集手段についてお知らせします。ご活用いただき、日ごろからの備えや、災害時の行動を考えましょう。

# 01 自分の地域のリスクを知る

ハザードマップを見て自宅や周辺地域を確認しましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。



# 02 命を守るためにあなたがとるべき避難行動は??

災害時の行動を事前に決めておきましょう。



※浸水の危険があっても2階など浸水する深さよりも高いところにいるなどの場合、自宅に留まり安全確保することも可能です。

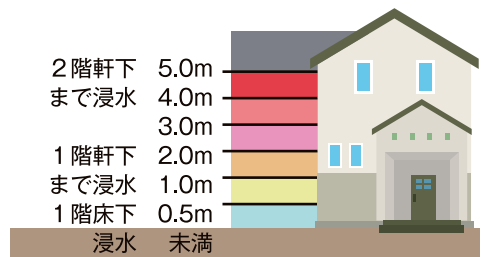
## 土砂災害の危険がないかを確認

- 土砂災害警戒区域  
Sediment Disasters Caution Area
- 土砂災害特別警戒区域  
Special Sediment Disasters Caution Area

- 土砂災害警戒区域  
土砂災害のおそれがある区域
- 土砂災害特別警戒区域  
土石流が流れ込んだり、崖崩れや地滑りが起こるおそれがある区域

## 洪水や浸水の危険がないかを確認

浸水想定区域  
Assumed Water Levels (Flooding)



- 浸水想定区域  
河川や身近な水路などの氾濫により浸水のおそれがある区域

ホームページでハザードマップを確認



# 04 備蓄品の準備

いざというときに備えて、最低3日分、できれば7日分の備蓄品を準備しておきましょう。  
※表紙のチェックリストを参考に。

# 03 避難情報を入手

災害時には、一人ひとりが正しい情報を入手し迅速に行動することが、被害の拡大を防ぎます。自分で情報収集できるように準備しましょう。

## 市の避難情報の内容

- 日時
- 災害の種類 (土砂災害、河川の氾濫等)
- 避難情報の種類 (高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保)
- 対象区域等 (〇〇学区の土砂災害警戒区域等)
- 開設する指定避難所 (〇〇市民センター、〇〇小学校体育館等)

## ■大津市防災ポータルサイト

災害への備えや危険箇所、避難所など防災に関する情報を集約



## ■大津市防災メール



## ■エリアメール、緊急速報メール

携帯電話会社が市内の携帯電話に配信。一部対象外機種あり

## ■テレビのdボタン

## ■大津市防災ナビ



iPhone用



Android用

特集に関する問い合わせは……危機・防災対策課 ☎528-2616